

名前

月日

点

年表の穴うめ（10項目）

（ ）にあてはまることばを書きましょう。

年	できごと
794	都を京都の 平安京 に移す
797	坂上田村麻呂 が征夷大將軍になる
894	菅原道真 の提案で遣唐使が停止される
1016	藤原道長 が摂政になる
1053	藤原頼通が 平等院鳳凰堂 を建てる
1086	白河上皇が 院政 を始める
1156	保元の乱 が起こる
1159	平治の乱 が起こる
1167	平清盛が 太政大臣 になる
1185	壇ノ浦の戦いで 平氏 がほろびる

一問一答 (26問)

1	794年、桓武天皇（かんむてんのう）が政治を立て直すため京都に移した都は？	平安京
2	娘を天皇（てんのう）のきさきにして勢力をのばした藤原氏（ふじわらし）の政治は？	摂関政治
3	894年、菅原道真（すがわらのみちざね）の意見で停止された使節（しせつ）は？	遣唐使
4	紫式部（むらさきしきぶ）が書いた、かな文字（かなもじ）による長編物語は？	源氏物語
5	10世紀の中ごろ、関東で反乱を起こし、みずから「新皇」と名のった武士は？	平将門
6	10世紀の中ごろ、瀬戸内海で海賊を率いて反乱を起こした人物は？	藤原純友
7	律令政治（りつりょうせいじ）を立て直そうと平安京（へいあんきょう）へ都を移した天皇（てんのう）は？	桓武天皇
8	比叡山に延暦寺（えんりゃくじ）を建て、天台宗を広めた僧は？	最澄
9	高野山に金剛峯寺を建て、真言宗を広めた僧は？	空海
10	「この世をば…」の歌をよみ、摂関政治（せっかんせいじ）の全盛期を築いた人物は？	藤原道長
11	遣唐使（けんとうし）停止後に発達した、日本独自の文字は？	かな文字
12	清少納言（せいしょうなごん）が書いた、宮中の生活をつづった随筆は？	枕草子
13	藤原頼通が宇治に建てた、浄土信仰を表す阿弥陀堂は？	平等院鳳凰堂
14	白河上皇（じょうこう）が天皇（てんのう）の位をゆずったあとも政治を行ったしくみは？	院政
15	1156年、天皇と上皇の対立に貴族や武士が加わって京都で起こった戦いは？	保元の乱
16	1159年、平清盛が源義朝を破り、平氏が力をのばすきっかけとなった戦いは？	平治の乱
17	荘園の領主が手に入れた、国に税を納めなくてよい権利は？	不輸の権
18	荘園に国司の役人が立ち入ることをこぼむ権利は？	不入の権
19	1185年、源義経（みなもとのよしつね）らが平氏をほろぼした戦いは？	壇ノ浦の戦い
20	平氏がほろんだ壇ノ浦は、現在の何県にある？	山口県

天皇が幼いときに政治を代行するのが摂政（せっしょう）。では、天皇の成人後に 21 政治を補佐する職は？	関白
「この世をば わが世とぞ思ふ 望月（もちづき）の 欠けたることも なしと思へば」 22 とよんだ人物は？	藤原道長
桓武天皇（かんむてんのう）から征夷大將軍に任じられ、東北地方の蝦夷（えみ 23 し）を平定した人物は？	坂上田村麻呂
平清盛（たいらのきよもり）が一族の守り神として信仰し、社殿を整えた広島県 24 の神社は？	厳島神社
25 平清盛が日宋貿易（にっそうぼうえき）のために整備した港は？	大輪田泊
平安時代の後期、平泉（ひらいずみ）を本拠に約100年にわたって東北地方で栄え 26 た一族は？	奥州藤原氏

正誤問題（6問）

1 正しいものを1つ選びましょう。

ア

- ア 空海が高野山に金剛峯寺を建て、真言宗を広めた。
- イ 天皇が幼いときは摂政が政治を代行し、天皇の成人後は執権が政治を補佐した。
→ 正しくは「関白」
- ウ 10世紀の中ごろ、平清盛が関東で反乱を起こし、みずから「新皇」と名のった。
→ 正しくは「平将門」
- エ 遣唐使の停止後、日本独自の文字として甲骨文字が発達した。
→ 正しくは「かな文字」

2 誤っているものを1つ選びましょう。

ア

- ア 平安時代の後期、伊達氏が平泉を本拠に約100年にわたって東北地方で栄えた。
→ 正しくは「奥州藤原氏」
- イ 894年、菅原道真の意見で遣唐使が停止された。
- ウ 平清盛は、日宋貿易のために大輪田泊を整備した。
- エ 藤原頼通は、浄土信仰を表す阿弥陀堂として宇治に平等院鳳凰堂を建てた。

3 正しいものを1つ選びましょう。

イ

- ア 1185年、源義経らが屋島の戦いで平氏をほろぼした。
→ 正しくは「壇ノ浦の戦い」
- イ 794年、桓武天皇は政治を立て直すため、都を京都の平安京に移した。
- ウ 10世紀の中ごろ、源頼朝が瀬戸内海で海賊を率いて反乱を起こした。
→ 正しくは「藤原純友」
- エ 源頼朝が桓武天皇から征夷大將軍に任じられ、東北地方の蝦夷を平定した。
→ 正しくは「坂上田村麻呂」

4 誤っているものを1つ選びましょう。

ア

- ア 藤原氏は娘を天皇のきさきにして勢力をのばし、院政を行った。
→ 正しくは「摂関政治」
- イ 最澄が比叡山に延暦寺を建て、天台宗を広めた。
- ウ 荘園に国司の役人が立ち入ることをこばむ権利を不入の権という。
- エ 紫式部は、かな文字による長編物語の源氏物語を書いた。

5 正しいものを1つ選びましょう。

ア

- ア 白河上皇は、天皇の位をゆずったあとも院政によって政治を行った。
- イ 平清盛は、広島県の伊勢神宮を一族の守り神として信仰し、社殿を整えた。
→ 正しくは「厳島神社」
- ウ 1159年の保元の乱で平清盛が源義朝を破り、平氏が力をのばすきっかけとなった。
→ 正しくは「平治の乱」
- エ 1156年、天皇と上皇の対立に貴族や武士が加わり、京都で平治の乱が起こった。
→ 正しくは「保元の乱」

6 誤っているものを1つ選びましょう。

エ

- ア 桓武天皇が律令政治を立て直そうと、平安京へ都を移した。
- イ 清少納言は、宮中の生活をつづった随筆の枕草子を書いた。
- ウ 藤原道長が「この世をば わが世とぞ思ふ 望月の 欠けたることも なしと思へば」とよんだ。
- エ 荘園の領主は、国に税を納めなくてよい不入の権を手に入れた。
→ 正しくは「不輸の権」